

ウズベキスタン

Republic of Uzbekistan

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 |
|-----------------------------------|----------|----------|----------|
| ①人口：3,325万人（2019年1月1日） | | | |
| ②面積：44万8,924km ² | | | |
| ③1人当たりGDP：1,550米ドル (2018年) | | | |
| ④実質GDP成長率（%） | 7.8 | 5.3 | 5.1 |
| ⑤消費者物価上昇率（%） | 5.7 | 14.4 | 14.3 |
| ⑥失業率（%） | 5.2 | 5.8 | 9.3 |
| ⑦貿易収支（100万米ドル） | △1,964 | △1,645 | △5,449 |
| ⑧経常収支（100万米ドル） | 498 | 1,774 | △3,577 |
| ⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル） | 26,428 | 28,076 | 27,081 |
| ⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル） | 13,100 | 15,000 | 17,077 |
| ⑪為替レート（1米ドルにつき、 スム、期中平均、公定レート） | 2,965.25 | 5,113.88 | 8,069.05 |

〔注〕③：推計値、⑤：12月の前年同月比
〔出所〕①、④～⑧：ウズベキスタン国家統計委員会、②：国土地理国家委員会、③：IMF、⑨～⑪：ウズベキスタン中央銀行

2017年9月の為替改革の結果、経済活動が活発化している。2018年の実質GDP成長率は5.1%で、諸分野での改革が進み中期的にも明るさが見える。貿易額、対内直接投資額も伸びている。ビザ緩和をきっかけにウズベキスタンを訪問する日系企業関係者が増えている。

■各分野での改革進む、経済にも好影響

2018年の実質GDP成長率は5.1%となった。部門別には農業が0.3%増、鉱工業が10.6%増、建設業が9.9%増、商業・外食業が4.4%増、輸送・倉庫・通信業が6.3%増、その他サービスが5.4%増となった。産業別寄与度は鉱工業が2.1ポイント、サービス業が1.8ポイント、建設業が0.5ポイント、農林水産業0.1ポイントなど。鉱工業の内訳は、鉱業が構成比25.9%（前年比28.2%増）、製造業が66.8%（6.4%増）などだった。

2018年の消費者物価指数（CPI）上昇率（前年末比）は14.3%（2017年は14.4%）となった。食品、公共料金・住宅サービス・最低賃金引き上げなどが影響した。

通貨スムの2018年の年間の対ドルレート下落率は2.3%だった。2018年3～8月まではスム高に向かう傾向も見られ、2017年9月の外為規制緩和以降の落ち着きを取り戻したように見えたが、2018年秋以降はスム安圧力が強まっている。

政府機構の再編や諸分野の改革が継続している。2019年1月には国家投資委員会と貿易省が統合され投資貿易省が設立された。2月にはエネルギー省と運輸省が発足し、国有企業の行政部門を引き継いでいる。2019年1月には税制の大幅改定が行われた。個人所得税は従来の累進課税から一律12%へ、企業利潤税は14%から12%へ、中小企業向けの統一支払税は売り上げに対し5%から4%などへ簡素化・低減された。同じく1月から関税率が改定された。全体の44.9%の3,410品目について関税が軽減され、うち200品目以上が0%となった。一方、輸送機器

などは国内産業保護を目的に関税が引き上げられた。

政府は2018年2月以降、ビザ免除国数を増やしている。2019年1月には欧州諸国も対象となり、観光振興、ビジネス環境向上に大きく貢献している。

2019年の投資・インフラ計画（2018年12月採択）によると、政府保証付き外国投融资受入案件の総額は前年比17.6%増の26億8,400万ドル、案件数は84件（前年71件）を予定。政府保証枠は4年連続で拡大した。

2019年の実質GDP成長率について、2018年12月採択の2019年度政府予算案では5.4%と想定されている。一方、国際金融機関（世界銀行、IMF、アジア開発銀行）はそれぞれ5.3%、5.0%、5.2%と予測している。

■輸入額が大幅増

国家統計委員会によると、2018年の貿易は輸出が前年比13.5%増の142億5,390万ドル、輸入が39.6%増の195億5,520万ドルとなった。輸出では電力・石油・天然ガスなどのエネルギー製品が前年比65.8%増。輸入では機械・設備が前年比64.5%増の83億2,170万ドルで、輸入大幅増に寄与した。国別実績では2年連続で輸出入ともに中国が最大のパートナーとなった。中国側統計ではウズベキスタンの対中輸出の61.6%を天然ガスが占め、綿糸がシェア19.4%でこれに続く。第2位の貿易相手国・ロシア向け輸出は綿糸・アパレルなど軽工業品、プラスチック一次製品、青果類が中心。

ミルジヨエフ大統領の推進する一連の経済構造改革、ビジネス環境整備を背景として、外国からの直接投資も

増加している。国連貿易開発会議 (UNCTAD) の統計によれば、2018年の対内直接投資額は前年比4倍の4億1,200万ドルになった (ウズベキスタンでは対内直接投資額の詳細は公表していないので内訳は不明)。公表されている投融資額の統計でみると、固定資本への同投融資額は30兆1,548億スム (約37億ドル)。そのうち直接外国投融資は5兆2,008億スム (約6億ドル) で、77.6%を鉱業部門が占めている。

ウズベキスタンの経常収支は、輸入の大幅な増加を受け、2018年に初めて赤字 (35億7,700万ドル) を記録した。しかし、世界銀行は同国の輸出構造が過去25年で多角化されていること、輸入増は経済の工業化に向けた資本財輸入であること、輸入13カ月分に相当する十分な外貨準備、外国直接投資の大幅な増加などの要素から、同国に外的ショックへの耐性があることを認めている。

■日本の輸出が大幅増、販路開拓が活発化

日本側「貿易統計 (通関ベース)」によると、2018年の対ウズベキスタン輸出額は前年比4.36倍の5億2,679万ドル、輸入額は18.9%増の531万ドルでウズベキスタン側の大幅な貿易赤字である。日本からの輸出は原動機、ポンプなどが伸びた。繊維機械も前年比2倍強に伸びている。ウズベキスタンの関税引き下げ、援助案件の資材輸入、外為規制緩和による好影響とみられる。日本の輸入では非鉄金属 (アルミニウム) が前年比4.4倍になった。

2019年6月末時点で、ウズベキスタンでは22の日系企業が活動している (駐在員事務所18、現地法人3、合弁企業1)。同国の事業環境好転を受け、案件開拓のため現地を訪れる日系企業も徐々に増えている。アフターケアが不要な製品は日本から直接販路開拓を行い (ロート製薬の目薬販売など)、必要な商品に関しては将来的な拠点開設なども視野に入れ、ロシアなどの代理店と協力し欧州・中東の日系法人が営業を行うケースがみられる。

2018年9月、クレジットカード大手JCBは、ウズベキスタン2位の商業銀行のウズプロムストロイ銀行とカード業務に係るライセンス契約を締結した。外為規制緩和と観光客数の伸びが進出の背景としている。

なお、定例の日本ウズベキスタン経済合同会議が2019年7月に東京で開催された (第15回)。ガニエフ副首相は、同国が取り組む諸改革 (行政管理、经济管理、通貨管理、徴税・通関システム、金融システム、自由経済区の設置、短期滞在査証の免除など) の現状を説明。日本に対し、石油化学、機械、自動車、医薬品などの製造業に加え、電力、情報通信、観光など、これまでのODAや資源開発関連を超えた幅広い協力への期待を示した。

表1 ウズベキスタンの主要品目別輸出入

(単位: 100万ドル、%)

| 輸出 (FOB) | | | | |
|--------------|--------|--------|-------|-------|
| 品目 | 2017年 | 2018年 | | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| サービス | 2,475 | 3,030 | 21.3 | 22.4 |
| エネルギー製品 | 1,608 | 2,666 | 18.7 | 65.8 |
| 鉄鋼・非鉄金属 | 915 | 1,167 | 8.2 | 27.6 |
| 食料品 | 876 | 1,098 | 7.7 | 25.3 |
| 化学品・プラスチック製品 | 884 | 905 | 6.3 | 2.4 |
| 繊維 | 477 | 222 | 1.6 | △53.5 |
| 機械・設備 | 355 | 214 | 1.5 | △39.7 |
| その他 | 4,967 | 4,952 | 34.7 | △0.3 |
| 合計 | 12,554 | 14,254 | 100.0 | 13.5 |

| 輸入 (CIF) | | | | |
|--------------|--------|--------|-------|------|
| 品目 | 2017年 | 2018年 | | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| 機械・設備 | 5,059 | 8,322 | 42.6 | 64.5 |
| 化学品・プラスチック製品 | 2,148 | 2,555 | 13.1 | 18.9 |
| サービス | 1,978 | 2,243 | 11.5 | 13.4 |
| 鉄鋼・非鉄金属 | 1,275 | 1,773 | 9.1 | 39.1 |
| 食料品 | 1,273 | 1,582 | 8.1 | 24.2 |
| エネルギー製品 | 742 | 880 | 4.5 | 18.5 |
| その他 | 1,538 | 2,201 | 11.3 | 43.1 |
| 合計 | 14,012 | 19,555 | 100.0 | 39.6 |

(出所) ウズベキスタン国家統計委員会

表2 ウズベキスタンの主要国別輸出入

(単位: 100万ドル、%)

| 輸出 (FOB) | | | | |
|------------|--------|--------|-------|-------|
| | 2017年 | 2018年 | | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| 中国 | 2,026 | 2,869 | 20.1 | 41.6 |
| ロシア | 2,019 | 2,193 | 15.4 | 8.6 |
| カザフスタン | 1,058 | 1,458 | 10.2 | 37.9 |
| トルコ | 878 | 932 | 6.5 | 6.2 |
| アフガニスタン | 616 | 600 | 4.2 | △2.5 |
| キルギス | 178 | 348 | 2.4 | 95.2 |
| タジキスタン | 186 | 236 | 1.7 | 26.8 |
| フランス | 149 | 190 | 1.3 | 27.6 |
| イラン | 267 | 173 | 1.2 | △35.3 |
| 日本 | 15 | 13 | 0.1 | △9.0 |
| 合計 (その他含む) | 12,554 | 14,254 | 100.0 | 13.5 |

| 輸入 (CIF) | | | | |
|------------|--------|--------|-------|-------|
| | 2017年 | 2018年 | | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| 中国 | 2,729 | 3,558 | 18.2 | 30.4 |
| ロシア | 2,710 | 3,537 | 18.1 | 30.5 |
| 韓国 | 1,244 | 2,047 | 10.5 | 64.5 |
| カザフスタン | 998 | 1,565 | 8.0 | 56.8 |
| トルコ | 675 | 1,235 | 6.3 | 83.0 |
| ドイツ | 588 | 725 | 3.7 | 23.4 |
| ラトビア | 213 | 389 | 2.0 | 82.9 |
| 米国 | 183 | 378 | 1.9 | 106.7 |
| ベラルーシ | 155 | 377 | 1.9 | 143.1 |
| 日本 | 152 | 687 | 3.5 | 352.9 |
| 合計 (その他含む) | 14,012 | 19,555 | 100.0 | 39.6 |

(注) サービスを含む。

(出所) ウズベキスタン国家統計委員会

表3 ウズベキスタンの対内直接投資の推移
<実行ベース、ネット、フロー>

(単位: 100万ドル)

| | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 対内直接投資額 | 66 | 134 | 98 | 412 |

(出所) 国連貿易開発会議 (UNCTAD)